



しました。これは、介護保険基金積立金、国庫支出金過年度分返還金などの追加に伴う補正です。
()は補正後の総額

歳入
国庫支出金 92万2千円
(1億1、910万2千円)
支払基金交付金 424万5千円
(1億4、381万5千円)
県支出金 43万4千円
(5、495万5千円)
繰入金 106万4千円
(9、518万1千円)

繰越金 1、579万7千円
(1、579万8千円)
歳出
総務費 6万円
(3、708万2千円)
保険給付費 347万6千円
(4億3、963万円)
基金積立金 1、427万9千円
(1、429万6千円)
諸支出金 464万7千円
(465万2千円)

明和町環境都市宣言(全文)(平成15年10月4日宣言)

明和町は、我が国有数の大河、利根川が育んだ関東平野の中央に開けたまちで、光あふれる肥沃な土壌、豊富な水と緑に恵まれています。特産の花や果物にみるように、私たちはこのまちで久しく豊かな自然の恵みを楽しんできました。

しかし、私たちの何気ない日常生活に起因する身の回りの環境問題は、今や国境を越えて地球規模の環境問題となり、時を越えて子孫の世代にまで深刻な影響を及ぼすことが明らかになってきています。
よって私たちは、便利で豊かな日頃の生活に起因する環境負荷を低減し、資源やエネルギーを大切に

- にし、生きものを慈しみ残された良好な環境を守り育て、失われた良い環境を回復し子どもたちに継承するために、ここに環境にやさしい行動をとることを宣言し、町民、事業者、行政が力を合わせて、次のようなまちを目指します。
- 一 さわやかな空気を澄んだ水、快適な生活環境を保つまち
 - 一 自然の恵みに感謝し、自然環境を大切にすまち
 - 一 生きものやみどりと共に生きる、人に優しいまち
 - 一 限りある資源・エネルギーを大切にすまち
 - 一 一人ひとりの自主的な行動により、みんなで環境を良くすまち

東小学校屋内運動場等を整備

平成14年度決算のあらまし

平成14年度の予算執行に当たっては、国の予算編成方針および国の地方財政計画を指針として実施してまいりました。

政府は、景気の先行きに対する強い不安感と不透明感の中、デフレに対応しながらの構造改革の断行と景気浮揚策を両立しなければならぬという、厳しい財政運営を行ってきました。本町においても例外でなく、平成14年度は特に厳しい状況でありました。決算状況は、前年度に比べ町税が大幅減収となり、地方交付税や各種交付金も減収する中、従来からの計画的かつ重点的な財政配分など長期的展望に立つての財政運営として、繰入金が増額および町債の借入等により事業を展開してきたところでありました。

主要事業としましては、東小学校の屋内運動場とプールの改築事業をはじめ、新しいまちづくりの指針となる第5次総合計画や都市計画マスタープランの策定に向けた「新しい創造プラン」の策定事業、IT革命に対応した情報化施策の推進、新庁舎建設に向けての建設委員会や地質調査の実施、

長寿社会にふさわしい福祉社会の仕組みを築くための高齢者保健福祉計画の策定、健やかに心豊かな生活が営めるような健康づくり計画の策定、環境基本計画策定のための調査研究業務、産業祭の開催、通学路の街灯設置事業などを実施してまいりました。

また、このほかの重点事業につきましては、従来からのペーシスを堅持しながら都市基盤の整備や生活環境の整備、健康の増進、福祉の向上、教育文化の向上、産業の振興、行政基盤の強化などに積極的に取り組み、町民の皆様の生活資質の向上のため、計画的、合理的、かつ効率的な財政運営を推進してきたものと確信しているところであります。

これもひとえに、議員の皆様がたをはじめとし、町民各位の深いご理解と温かいご指導、ご協力のたまものと心から感謝申しあげ、ここに決算のあらましをお知らせいたします。

明和町長 斎藤 憲